

様へ

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日	月 日	
経過	当日術前 (入院日)	当日術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目
目標	○心身ともに安定した状態で手術を受けられる ○治療に対する不安を表出できる	○術後合併症を起こさない			
検査	身長・体重測定		採血 レントゲン撮影		
食事	絶飲食		医師が食事再開時期を判断	朝より常食	退院日は朝食のみ
処置・観察	リストバンドを装着します(退院日まで) 時間になれば、看護師が手術室にご案内します	手術後以下の挿入物、装着物があります ・酸素 → 手術4時間後に取り外します ・心電図モニター → 取り外します ・点滴の管 → 取り外します ・創部の管(必要時) → 排泄の状況を見て抜去します ・尿道カテーテル → 取り外し、排尿を確認します  創部を観察、処置を行います			退院時にリストバンドを外します
状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります					
点滴・内服	持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください	以下の点滴を行います ・持続点滴 → ・抗菌薬 →		(必要時) ・抗菌剤 →	
行動・リハビリ	以下の手術準備をします ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し	翌朝までベッド上安静です	歩行を開始します 尿道カテーテル抜去後はトイレで排尿できます	創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開します(週3回、病棟毎で日が異なります)	
説明	医師・麻酔科医より説明(外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について 病棟・手術室看護師より説明 ・入院生活について(パスシートを使用) ・手術について 薬剤師より説明 持参薬確認 ・使用薬剤について	医師より説明 ・手術結果について  看護師より説明 ・術後の注意点について ・安静について ・下肢運動について		医師より説明 ・退院後の治療計画、療養上の留意点について  看護師より説明 ・退院後の療養生活について(退院療養計画をお渡しします)	

\* 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください 08-K35-2 2023.8.21版 京都第一赤十字病院  
 \* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。  
 \* この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

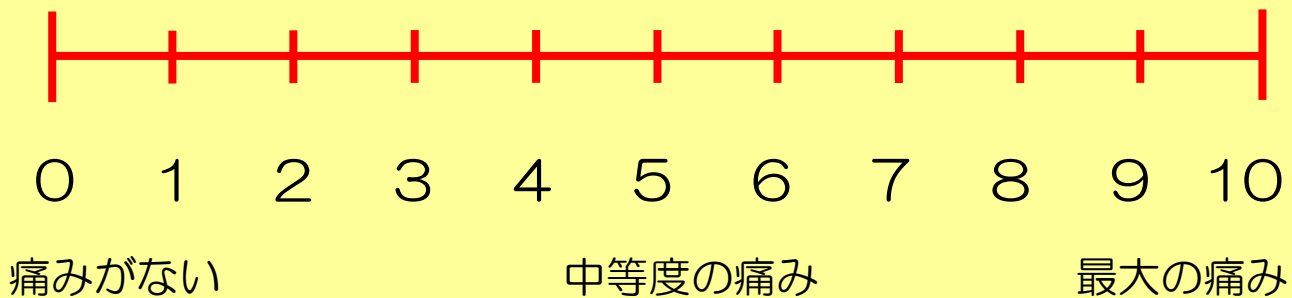
## 手術後の傷の痛みを教えてください

講習を受けた麻酔科医・看護師・薬剤師・臨床工学士で構成された術後疼痛管理チーム（APS）チームが、患者さんの傷の痛みに対して、手術前から計画を立て、傷の痛みが軽減するよう取り組んでまいります。

実際の傷の痛みに対して、NRS(Numerical Rating Scale)：痛みの評価スケールを使用します。0 から 10 までの 11 段階です。

**👉 手術後、どの程度の痛みかを数値で教えてください**

10 を最大の痛みとした場合  
今の痛みはどのあたりですか



APS チームがサポートします。

よろしく申し上げます。

